



豊玉二中だより

令和2年度 第3号
発行日 6月5日(金)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

翌檜 (あすなろ)

校長 神山 信次郎

緊急事態宣言の全面解除を受け、今日6月1日から、授業を再開することになりました。まだまだ、感染予防に配慮しながらの生活が続きますが、皆さんと学校で勉強できることは、本当にうれしいです。

自粛中皆さんは、不安の中で生活していたと思います。友達と一緒に勉強し、運動していた日常の生活が突然奪われ、改めて学校生活の大切さを感じたのではないのでしょうか。先生たちもこの日のために皆さんが不安なく学校生活に戻れるように、様々な準備をしてきました。ここで、気持ちのスイッチを入れ直しましょう。一日一日を大切に、各自の目標に向かって頑張りましょう。

さて、みなさんは翌檜(あすなろ)という木を知っていますか。ヒノキ科の常緑高木で、東北地方から九州地方までほぼ全国に広く分布しています。檜(ひのき)は高級建材として有名ですが、この翌檜という木は、檜には似ていますが質や大きさが少々劣ります。そこから、「檜のように明日なろう」という意味で「あすなろ」と呼ばれるようになったと言います。しかし、檜という有名な木になることだけが、大切なのではなく、翌檜は翌檜として木曾地方での五木(ごぼく)としての立派な役割があります。つまり、常に目標を持ち、その目標の達成に向けて努力することが大切であるということを教えているのではないのでしょうか。

「あすなろ」という言葉から、明日に向かって一生懸命生きようとするたくましさを感じます。日々、努力し、必ず立派な檜になろうとしている姿は、夢や希望の実現に向けて一生懸命努力しようとしている、今の皆さんの姿そのものではないのでしょうか。そして、その夢や希望が実現したら、さらに次の目標を持ち、努力し続けなければなりません。皆さんが今年の目標に掲げたことを最後まであきらめずに、挑戦してほしいと思います。今学期、健康に気をつけて、頑張ってください。

(6月1日 朝礼講話)